

■ 埼玉県東松山市との「災害時に備える人工衛星の利用による協力活動に関する協定」の締結について

この度埼玉県東松山市との間で「災害時に備える人工衛星の利用による協力活動に関する協定」を締結しました。

本協定に基づき、災害時に市からの協力要請を受け、人工衛星により観測した被災地の画像データを提供し被災状況の情報収集に協力すること、災害に備える取り組みの支援や衛星画像データ活用のためのRESTECの研究開発に協力いただくことなどが盛り込まれています。

RESTECは、災害時の衛星データ活用のための技術開発を続けてまいります。



■ 埼玉県比企郡嵐山町からの感謝状受領について

この度、嵐山町が開催した令和2年功績表彰式において嵐山町より感謝状を授与されました。

これは、2019年11月に締結した災害時に備える協力活動に関する協定に基づきRESTECが行っている、地球観測衛星画像を用いたフロアマットの設置寄贈や、同町が進められている防災対策に対する貢献が認められたものです。

これからも、台風や大雨による河川の氾濫などの災害から私たちの暮らしを守るため、防災に係る連携の強化を図り協力活動に取り組んで参ります。



■ RESTECWEBサイトのリニューアル

RESTECは、8月1日に創立45周年を迎えました。

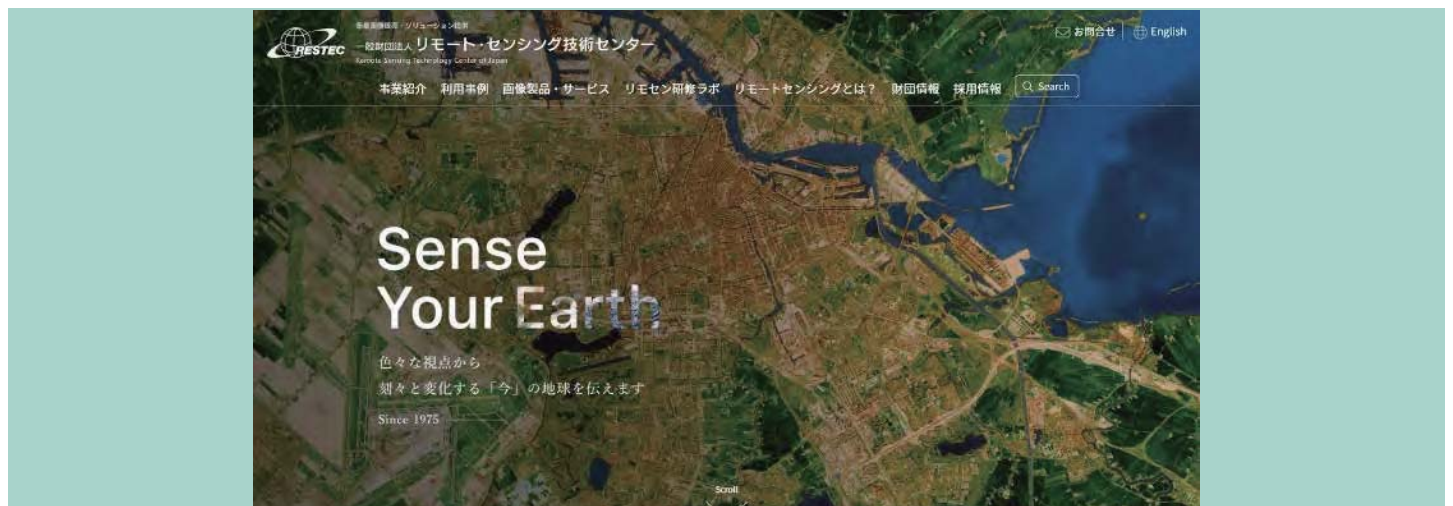
これに合わせ「Sense Your Earth」をテーマにWEBサイトをリニューアルし、リモートセンシング技術を通して“地球の今”を伝える我々の姿・想いを反映したサイトをオープンしました。

RESTECが提供するサービスやプロダクトに、ご利用者が簡単にアクセス、閲覧できるようにインターフェースを改善し、これまでに

ご活用頂いた様々な実例を利用事例としてご紹介しています。

また、リモートセンシングの図書館と呼べるようなコンテンツも充実、世界中の衛星情報が集まった衛星一覧やリモセン用語集なども是非ご活用ください。

これからも皆様のお役に立つ新しい情報を発信してまいります。ご期待ください。




RESTECはホームページ以外にも、FaceBookにて随時情報を発信しています。
裏面のQRコードよりアクセスください。

■ 水稲作柄予測調査への衛星データを活用した新たな手法の導入について

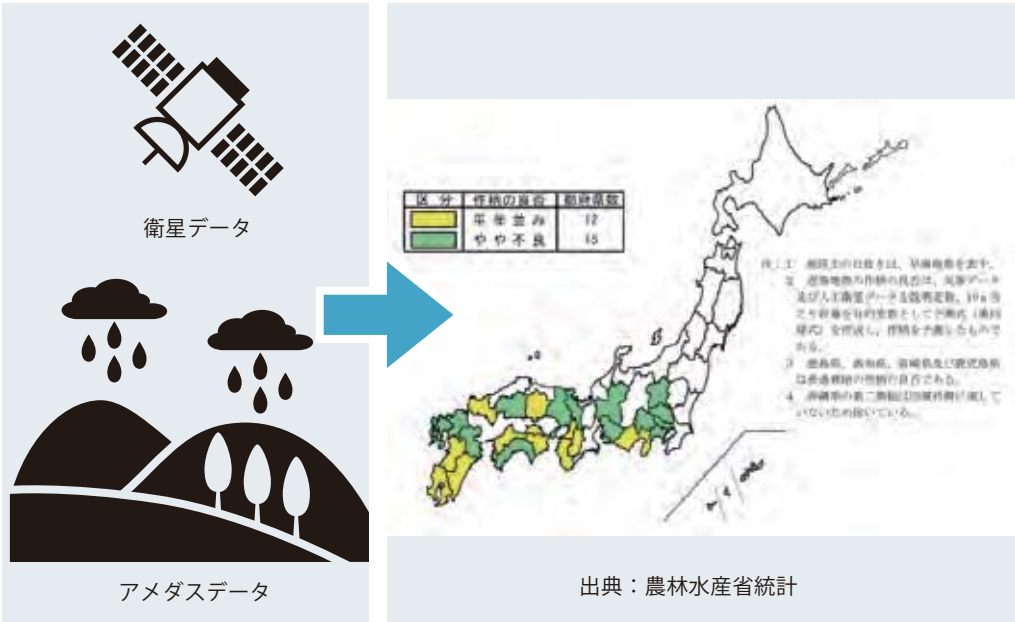
農林水産省では、全国各都道府県を対象とした水稲の作柄予測の公表を行っています。令和2年8月15日現在における作柄概況より、衛星データを利用した新たな手法が導入されました。従来の水稲調査では、草丈、茎数の計測といった生育状況を実測で調査していましたが、8月15日公表の作柄予測ではアメダスのデータに加え人工衛星から取得したデータのみを利用した地域ごとの作柄を予想することが可能となりました。

このように、ICT技術等を活用した手法を新たに導入することで、実測調査にかかる業務の合理化を行っています。RESTECでは農林水産省受託事業としてこの新たな手法の開発に平成29年より取り組んでまいりました。今後もより効率的かつ精緻な水稲作柄予想手法の検討を行い、農林水産行政サービスへの貢献を目指します。

従来の生育状況実測調査の例



人工衛星データを活用した新たな手法による作柄予測イメージ図



出典：農林水産省統計

■ 「課題解決に向けた先進的な衛星リモートセンシングデータ利用モデル実証プロジェクト」への採択

内閣府の実施する「課題解決に向けた先進的な衛星リモートセンシングデータ利用モデルプロジェクト」へRESTECが代表幹事を務めるプロジェクトが採択されました。このプロジェクトでは、衛星データを利用した新しい公共測量技術を確認することを目指しています。

新しい測量技術では航空写真に替わり衛星データを利用することでコストの削減や柔軟な更新エリアの選択などが見込まれます。これにより、公共地図の更新頻度を高め、自治体が行う業務の効率化やサービスの向上へつながり、民間分野における地理空間情報の利用が一層広がることが期待されます。